



令和6年度

昭和村立南小学校

五鈴鏡

令和7年2月12日

No.29

文責(吉野 満由美)



久しぶりに大雪となりました。皆さんの地域では、被害などなかったでしょうか。子どもたちはうれしいようで、校庭では雪合戦や雪だるま作りなど、歓声をあげながら雪遊びを楽しんでいます。9日(日)石坂建設の方が駐車場の雪かきをしてくださいました。本当に助かりました。ありがとうございます。また、子どもたちの通学路を雪かきしたり、点検したりしていただいた地域もあったのではないかと思います。おかげで安全に登下校できています。改めて、いろいろな人たちにお世話になりながら学校生活が成り立っていることを感じています。重ね重ね、ありがとうございます。

9日(日)教頭先生が校舎南側の通路を雪かきしていたら、遊びに来ていた6年生が「手伝います」と言って雪かきの手伝いをしてくれました。大人でも、自分から「○○しましょうか」と言うことはなかなかできないかもしれません。子どもたちの素直な気持ちと温かい言葉に感動しました。

各委員会によるピアサポート活動

南小の自慢の一つに「ピアサポート活動」があります。ピア・サポートとは、「仲間・同輩」(peer)による支え合い活動(support)のことです。共通する困難な経験や悩みを抱える人どうしで体験を共有したり、情報を交換し支え合う活動で、仲間同士の助け合いの意味合いなど多様な場面で「ピアサポート」という言葉は使われています。

南小では、各委員会ごとに、みんなを楽しませたり笑顔にしたりするための活動を考え、実施しています。3学期は、集会委員会の「節分」・体育委員会の「ドッジボール」・放送広報委員会の「クイズ大会&読み聞かせ」・いじめ防止委員会の「かけ算九九」などが行われています。どれも子どもたちが話し合っ決めて決まりました。ピアサポート活動がある日は、学年関係なく盛り上がります。まさに、笑顔あふれる南小。今後も、全校児童が学年関係なく仲良くなれる一つの方法として、このピアサポート活動は続けていってほしいと思います。

南小の自慢の一つに「ピアサポート活動」があります。ピア・サポートとは、「仲間・同輩」(peer)による支え合い活動(support)のことです。共通する困難な経験や悩みを抱える人どうしで体験を共有したり、情報を交換し支え合う活動で、仲間同士の助け合いの意味合いなど多様な場面で「ピアサポート」という言葉は使われています。



↑体育委員会【ドッジボール】



↑集会委員会【節分】

特別な朝礼【ゆうゆううちだ 金井大輔さん】～2/4～

2月4日(火)朝行事で、グループホーム「ゆうゆううちだ」管理者の金井大輔さんをお招きして、認知症とお年寄りとの接し方について、子どもたちに分かりやすくお話していただきました。認知症とは、人それぞれ記憶の器があって、そこから少しずつ記憶があふれてしまうものということ、そして、認知症のお年寄りには寄り添って気持ちを受け入れることで、良好な関係が築けることを知りました。これは、すべての人間関係の元となる大切なことだと気づきかされました。これを機に、自分からお年寄りに関わろうとする子どもたちが増えるといいなと思います。



5年生 家庭科【エプロン作り】～2/5～

2月5日(水)5・6校時、5年生の家庭科「エプロン作り」では、7名のボランティアの方にお世話になりました。ミシンでの制作は初めてだったので、心配そうな子もいましたが、ボランティアの協力と子どもたちのがんばりで、全員予定していたところまで仕上がりました。次回完成するのが楽しみです。いつも、ご協力いただきありがとうございます。



1年生 生活科【昔から伝わる遊び】～2/6～

2月6日(木)4校時、1年生の生活科「昔から伝わる遊びを楽しもう」では、なんと18名のおじいちゃん・おばあちゃん・お父さん・お母さんが参加してくださいました。子どもたちは、「こま」「けん玉」「あやとり」「お手玉」「おはじき」の5つの遊びを、大人と一緒に楽しみました。大人も子どもも皆笑顔で、大いに盛り上がりました。終わった後には、1年生と一緒に給食を食べてもらいました。帰って行く皆さんのうれしそうなお様子が印象的でした。ありがとうございました。



4年生 総合的な学習の時間【ユニバーサルスポーツ体験】～2/7～

2月7日(金)5・6校時、4年生の総合的な学習の時間では、「ユニバーサルスポーツを楽しもう」ということで、村スポーツ推進委員の皆さんにお世話になり、「モルック」を体験しました。初めてのモルック体験に、子どもたちは悪戦苦闘しながらも、次第にコツをつかみ得点を重ねていきました。チーム対抗で行っていたので、得点が入る度にお互いに一喜一憂、盛り上がりました。途中、子どもたちに「どう？」と尋ねたら「力を入れすぎると通り越してしまうし、弱く投げると届かないから、調整が難しい」と言っていました。試行錯誤しながら考えている姿に驚きました。

誰でもが参加しやすいスポーツとして知られる「モルック」。担任は、「分かりやすいしみんなで楽しめるので、レクリエーションでやってもいいですね」と話していました。

スポーツ推進委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

